

イマージョン教育（英語科・音楽科） 学習指導案

授業者：神戸山手女子中学校 教諭 Sharon Rose Reyes
安藤 京子 上田 美幸

場 所：理論教室

1. 日 時： 2022年10月15日（土） 11：50～12：40
2. 対 象： 中学1年1組（14名）
3. 科目名： イマージョン教育（英語科・音楽科）
4. 単元名： 「ボディーパーカッションで合奏しよう！」
5. 授業観について

○生徒観

基本的にはどの授業にも積極的に取り組み、真面目な姿勢が見受けられる。ペアワークにも積極的に参加し、協力して何かを成し遂げることに抵抗感がない。また、音楽が好きな生徒が多く、感性が豊かで、イメージを持って楽曲を聴くことができる。しかし、英語の理解度が低く、英語による自己表現を苦手としている生徒もいる。また、控えめな生徒が多く、声が小さくなりがちである。

○教材観

「中学生の音楽1」より「リズムアンサンブル」を用いる。リズムアンサンブルでは、異なるリズムを打ち、音の重なりを楽しむことを目的とする。また、4分の3拍子の曲として「エーデルワイス」、4分の4拍子の曲として「ミッキーマウスマーチ」を用い、それぞれの拍子に合わせてリズムを打てるようになることを目的とする。

○指導観

ボディーパーカッションを通して、生徒たちに様々な身体の部位や動作を英語で覚えさせる。さらに、英語で指示を聞き、適切に行動させる。英語が苦手な生徒であっても、音楽を通して楽しみながら英語を身につけられるようにする。間違えることを恐れず、積極的に参加し、挑戦しようという態度を養う。

6. 指導計画

- (1) 「エーデルワイス」を、旋律の動きを意識しながら日本語で歌唱する。英語の発音を学ぶ。…1時間
- (2) 「エーデルワイス」を、英語の発音に気をつけながら歌唱し、「サウンド・オブ・ミュージック」を鑑賞する。…1時間
- (3) 拍子を学び、4分の3拍子と4分の4拍子でボディーパーカッションによる合奏を行う。
…1時間（本時1／3）

7. 本時の指導目標

- (1) 「肩」「膝」「足」などの身体の部位や、「手をたたく」「足踏みする」などの動作を、英語で表現できる。
- (2) 4分の3拍子、4分の4拍子を意識し、リズムに合わせたボディーパーカッションによる合奏を楽しむ。
- (3) 音楽を通して、英語の4技能5領域に楽しく取り組む。

8. 教材

教科書『中学生の音楽1』（教育芸術社）

教材『Hit the Beat～ミッキーマウス・マーチ～』Winds Score+より

9. 学習の流れ

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
あいさつ	1分	【英語でのあいさつ】	・大きな声で挨拶するよう促す。 ・本時の目標を提示する。
導入	9分	【4技能5領域：聞くこと・話すこと・やりとり】 英語の単語と表現を学習する。 ・身体の部位の名前・動作・便利な表現 【4技能5領域：話すこと・発表】 ターゲットセンテンスを練習する。 音符の長さを確認する。 ・4分音符・8分音符・4分休符 手をたたいてリズムの確認をする。	・間違えても大丈夫であるということを強調して伝える。 ・初めはリピート、次に自分たちだけで英語で言わせるようにする。 ・カードを使って音符の長さや役割を確認する。 ・必ず英語によるリアクションを求める。
展開①	15分	「エーデルワイス」についての復習 メロディーを聴いた後、教員からの質問に答える。	・エーデルワイスが花の名前だということを、ヒントを与えながら英語で言わせる。

		<p>【4 技能 5 領域：聞くこと・話すこと-やりとり】 エーデルワイスの説明を聞き、好きな花について、英語でやりとりする。</p> <p>記号を確認する。 F－右足を踏み鳴らす K－膝をたたく S－肩をたたく H－手をたたく</p> <p>パート 1 を練習する。 4 小節ずつ練習する。</p> <p>全小節通して練習する。</p> <p>パート 2 を練習する。 同様に 4 小節ずつ練習した後、全小節通して練習する。 2 パートに分けて合奏する。</p> <p>パートを入れ替えて合奏する。</p> <p>【4 技能 5 領域：聞くこと】 4 分の 3 拍子とワルツについて学習する。 4 分の 3 拍子は three-quarter time と表す。</p> <p>4 分の 4 拍子の英語表現を、4 つの選択肢から選ぶ。 a. one-quarter time b. two-quarter time c. three-quarter time d. four-quarter time</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単に花の名前を言わせるのではなく、文で答えさせるようにする。また、その理由も尋ね、コミュニケーションを取るよう心がける。 ・英語で表現できたことを褒める。 ・楽譜の記号の意味を、リピートさせて教える。次に、リピートなしで、生徒に言わせる。 ・教員が小節ごとに見本を見せた後、生徒にさせる。 ・顔を上げてリズムを打てるように、前の画面に楽譜を表示する。 ・動作に合わせて、単語を言わせるようにする。 ・パート 1 と同様、見本を見せた後、生徒にさせる。 ・身体の部位による音の違いに気付かせる。 ・間違えてもかまわないので挑戦するよう、繰り返し伝える。 ・楽しくリズムを打てたことを褒める。 ・リズムを打った感想を英語で表現させる。 ・前に拍子記号と 4 分音符を 3 つと 4 つをそれぞれ並べて示す。 ・ワルツの発音に注意させる。 ・エーデルワイスをピアノで演奏しつつ、教員が手拍子で 4 分の 3 拍子を示す。 ・次に演奏する曲の拍子である 4 分の 4 拍子の英語の言い方を類推させる。 ・簡単に答えられるように、選択肢をもうける。 ・間違えても、挑戦したことを褒める。
展開②	20 分	<p>4 分の 4 拍子の「ミッキーマウスマーチ」を聴く。</p> <p>【4 技能 5 領域：聞くこと・話すこと-やりとり】 好きなディズニーのキャラクターについて、英語でやりとりする。</p> <p>動きを表す言葉を英語で練習する。</p> <p>記号を確認する。 S－右足を踏み鳴らす R－休む C－手をたたく</p> <p>A～Fをパートごとに練習する。</p> <p>A～Fを通して演奏する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手をたたき、4 分の 4 拍子を実感させる。 ・文で話すように促す。 ・理由を聞き、文で話させるようにする。 ・英語で表現できたことに対して褒める。 ・実際に動きながら英語を言わせる。 ・動作をしながら、英語で言わせる。 ・R では、様々なポーズをとらせる。 ・教員が見本を見せた後、生徒にさせる。 ・リズムを打ちながら、英語で言わせる。 ・R では教員が率先して様々なポーズをとり、生徒が恥ずかしがらずにできるようにする。 ・間違ってもいいと繰り返し伝える。 ・最後まで挑戦したことを褒める。 ・英語で感想を言わせる。
テスト まとめ	5 分	<p>机の座席に移動する。 ロイロノートでのミニテストに取り組む。</p> <p>【4 技能 5 領域：読むこと・書くこと】 ワークシートでの確認テストに取り組む。 書き込んだ部分を写真に撮ってロイロで提出する。 授業で学んだ表現を復習する。</p> <p>【英語でのあいさつ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロでは単語の表現をテストする。 ・間違えても、挑戦したことを褒める。 ・ワークシートでは、ターゲットセンテンスをテストする。 ・早くできた生徒には、裏面の問題に挑戦させる。 ・時間が余れば、動作などを見せて英語で言わせ、復習させる。 ・元気に挨拶するよう促す。
あいさつ			